

## 2021 年度第 3 回豊岡市環境審議会 会議録

日 時：2021 年 12 月 3 日（金）14 時～16 時 40 分  
会 場：豊岡市役所本庁 3 階 庁議室  
出席した委員：山室敦嗣、雀部真理、土川忠浩、内海京子、木築基弘、西垣由佳子、  
野世英子、菅村定昌、洞田美津子、戸田勝之、中村 肇、島崎邦雄  
欠席した委員：山田博文、毛戸 勝、山下正明  
事 務 局：市民生活部長 谷岡慎一、生活環境課長 成田和博  
地球温暖化防止対策室長 井上浩二、大逸優人、岸谷依子  
国際航業株式会社 福田敦信、飯尾圭造  
傍 聴 者：中田 樹（起業版地域おこし協力隊）

### 1. 開会（司会：井上室長）

- ・会議の公開、会議録の公表を確認
- ・配布資料の確認

### 2. あいさつ

- ・山室会長より挨拶

### 3. 協議（議長：山室会長）

#### (1) 2020 年度環境報告書（案）について

第 6 部（今後の取組に向けて環境審議会の意見）の最終確認

【会 長】次第に沿って進める。まず、環境審議会第 6 部の意見内容について目標像ごと  
に確認する。目標像①について事務局から説明をお願いする。

**目標像① 「手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます」**

【事 務 局】前回の環境審議会の際に出た意見をもとに、事務局で第 6 部の案を作成し  
た。目標像①の修正箇所について、3 段落目「森林環境の保全につながるビ  
ジネスが持続するよう、伐採～集積の各段階での針葉樹、広葉樹の仕分けに  
よる森林マネジメントサイクルの構築や付加価値化、人材育成や制度設計の  
サポート体制強化が求められます」とした。

【委 員】第 6 部に反映することではないかもしれないが、針葉樹、広葉樹の仕分けだ  
けではなく、樹種までこだわったものでないと製品化できない。例えば、サ

クラヤケヤキ等、個々の木にタグをつけて把握しないとお金にはならない。

【副会長】第6部には、各段階での樹種の仕分けと記載したほうがよいか。

【委員】個々の樹種という記載にしたほうが良い。

【委員】森林マネジメントサイクルは構築すべきだと思うが、運用にあたってはもう少し内部検討が必要かと思う。

【事務局】豊岡で具体的に実施している例はないが、環境審議会の意見として市の担当課に伝える。

#### 目標像② 「里山が様々に利用され、関わる人が増えています」

【事務局】1段落目の括弧中（野菜くずや二番穂の放置）と記載していた部分を、「（規格外野菜の投棄や二番穂の放置、柿などの果樹の放置）をやめることの啓発や、どのエリアでシカの生息数や被害が多発しているかを具体的に周知する」と変更した。

【委員】意見なし

#### 目標像③ 「使われていない農地の利用が進み、生きものの豊かな田んぼが増えています」

【事務局】2段落目、「生きものとの共生を意識したさらなる取り組みが求められます」を、「生きものとの共生という理念を意識したさらなる取り組みが求められます」と修正した。更に、「また、市民や事業者など消費者のニーズから農地の利用を考えることも大切な視点です」と文章を追加した。

【委員】地消地産という言葉はどこかにいれるべきだと思う。地産地消は生産者が消費者に買ってもらうために作物を作ることで、地消地産は消費者が作ってほしいものを作るということ。地消地産の意識づけを促すためにも記載があるほうが良い。

【会長】では、「農地の利用を考えるという「地消地産」を進める仕組みづくりも大切な視点です」と、修正したらよいか。

【委員】あらゆるところで地産地消という言葉がたくさん使われているが、地産地産

という言葉に違和感と意識を持ってほしい。

【委員】地消地産の取り組みは良いと思うが、消費者側が意見を出す場がどこにあるのか。お店だったらオーナーと販売屋で直接やり取りができるが、一般の消費者が生産者に直接意見を言えるようなシステムも併せて考えるべき。

#### 目標像④ 「あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます」

【事務局】1段落目を「海岸や河川の清掃活動が継続的に行われていますが、単なる「美化」や「クリーンアップ」で終わるのではなく、市民に「まずはごみを出さない」暮らし方をするという意識づけを行う必要があります。」と追記修正した。

【委員】「市民に「まずはごみを出さない」暮らし方をする意識づけを行う」とあるが、「市民は」に変えて、市民を主体にするような書きの方が良いと思う。

【会長】「見栄えの良い河原環境」の「見栄えの良い」という表現に違和感を感じる。

【委員】「親しみやすい」とすると良いと思う。

#### 目標像⑤ 「コウノトリも住める豊かな生態系が、バランス良く保たれています」

【事務局】各段落で一部追記を行い、「各小学校区に絶滅危惧種が生息しています。それらの種を地元の小学生や各団体が一緒になり、保全・再生していくことを期待します。」「野外に生息するコウノトリの増加に伴い、餌生物が再生・増加する環境を人の手で創出する必要があります。」とした。

【委員】「生物が再生する」という表現に違和感を感じる。

【委員】「再生」は場所や機能に対して使う言葉なので生物に対しては使わない。何か良い言葉があれば。

【事務局】例えば、コウノトリだと保護増殖事業という言い方をするので、絶滅危惧種に対しては保護増殖という言葉を使うのでは。

【委員】「生息環境を再生する」というのはどうか。

【会 長】 1 段落目は「地元の小学生や各団体が一緒になって保全し、生息環境を再生していくことを期待します。」とし、2 段落目は「餌生物が増殖する環境を人の手で創出する必要があります。」という書き方に変更する。

【目標像⑥】「様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげています」

【事務局】 1 段落目を「昔からの伝統や文化を研究し、先人の努力や知恵を再認識する場や機会の創出が求められます。また、他地域から豊岡市に移住して来られた方々とも交流し、昔からの伝統を守りつつ、新しい伝統が作られていくことを期待します。」と追記修正した。

【委 員】 意見なし

【目標像⑦】「子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています」

【事務局】 2 段落目を「地域の生態系サービスから得られる文化や知恵（生物文化多様性）を知ることで、ふるさとへの愛着も湧きます。」と追記修正した。

【委 員】 意見なし

【目標像⑧】「市民みんなが、ごみの減量化を実践し、1 人あたりの排出量が徐々に減っています」

【事務局】 追加・修正点等なし。

【委 員】 学校での文化祭や地域団体でのイベント時に大量のごみが出る。なるべく、ごみを出さないような行事やイベントの仕方について記載ができないか。

【会 長】 では、2 段落目に「学校行事や地域の行事などでのペットボトル飲料の提供を廃止し、マイボトルの持参や使い捨て容器を使わないなど、官民あがての小さな行動の積み重ねが重要です」と修正する。

【委 員】 最近は洗う文化がなくなっているように思う。洗うよりも買って捨てたほうが安いし手間も省けるのが理由。ごみを減らすために洗う文化も取り入れつつ、イベントや学校、地域コミュニティで対策を考えていく必要がある。

【目標像⑨】「市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を実践し、再生可能エネルギーの

**利用も増えています」**

【事務局】追加・修正点等なし

【委員】出勤時間の渋滞中にCO<sub>2</sub>を多く排出するので、出勤時間を分散するという文言をいれるとよい。

【会長】では、「電車やバスといった公共交通機関の利用、時差出勤や車の相乗りなど移動方法を考える啓発を強化してください。」と修正する。

**【目標像⑩】「環境をよくすることで経済が活性化され、交流も広がっています」**

【事務局】追加・修正点等なし

【委員】意見なし

## (2) 再生可能エネルギー導入戦略（案）の中間報告について

【事務局】豊岡市は今年2月、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを表明した。2050年カーボンニュートラルの実現を目指すために、再生可能エネルギー導入戦略を策定する。なお、再生可能エネルギー導入戦略は、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の下位に位置付けるものとする。委員のみなさまには導入戦略の中間報告をお聞きいただいた上で意見をいただきたい。

### (資料概要)

【資料1】豊岡市再生可能エネルギー導入戦略（案）中間報告について PPT

- 【資料2】
1. 基礎情報の収集及び現状分析
  2. 豊岡市温室効果ガス排出量
  3. 豊岡市再生可能エネルギーの利用可能量
  4. 2050年の将来ビジョンと脱炭素化に向けた施策
  5. 豊岡市脱炭素ロードマップ

【資料3】市民アンケート調査（結果）、事業者ヒアリング（結果）

### (説明概要)

ア 地球温暖化・昨今の動向について

イ 温室効果ガス排出量について

ウ 市民アンケート調査結果、事業者ヒアリング結果について

エ 再生可能エネルギーのポテンシャル調査結果について

オ 脱炭素化に必要な施策について

カ 脱炭素ロードマップ（案）について

【委員】 生物多様性に関する新たな国家目標「30 by 30」では、日本の自然保護区を国土の陸地面積と海洋面積それぞれ 30%以上を 2030 年までに設定しなければならないとあるが、この再生可能エネルギー導入戦略は豊岡市内の自然保護区の候補を仮設定し、その面積を計算して設定されたものか。

※現在、国が指定している自然保護区は、陸で 20.5%、海で 13.3%。2030 年までに、新たに陸で約 10%、海で約 17%の追加認定が必要となる。

【事務局】 「30 by 30」を考慮した算出にはなっていない。

【委員】 ソーラーカーポートの導入について書いてあるが、10 m<sup>2</sup>以上になると建築確認が必要になる。2 台以上のカーポートになると確実に 10 m<sup>2</sup>を超えるが、そのあたりは意識されているのか。

【国際航業】 建築基準、建築申請はネックになるが、ソーラーカーポートを導入することで施設へのエネルギー供給が可能になるため、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンなエネルギーで電力を賄うメリットもある。また、災害が起きた際はソーラーカーポートで発電した電気を利用することができる。

【会長】 最終的にどのような内容で戦略を作るか、イメージを教えてください。

【事務局】 資料 2 の内容が再生可能エネルギー導入戦略の完成系になる。細かい内容よりも、脱炭素化に必要な施策に漏れがないかを確認いただきたい。また、環境審議会の委員のみなさまから意見をいただく機会は今回が最後になる。市の方向性としては、脱炭素先行地域を設定し、国からの重点的な支援を受けて脱炭素化を進めたい。提案した必要な施策はすべて着手するというのではない。脱炭素先行地域設定に必要な条件や炭素税導入等、国の新しい制度設計を見ながら市として有利な施策展開をしていきたいと考えている。

【委員】 資料 2 に記載の「環境・生物多様性を保存する上で重要な地域」について、国が定める重要地域しか書いていない。兵庫県の保護地域やレッドリストについて記載がない。地形や地質についても把握が必要。

【事務局】兵庫県の重要地域をリストに追加する。

【委員】この内容は全国で通用するものになっている。豊岡の地域性をもう少し押さえるべき。カーポートへのパネル設置については雪が降らない地域を想定している。内容は映えるが、制度や技術、電気、予算の部分からみると現実的ではない。雪が降る地域での想定と取捨選択が必要になる。また、アンケート結果では、個人個人の認識不足や思い込みで、環境に配慮する生活が「生活を我慢すること」や「生活の質を下げる」とイメージされている人が多いので残念に感じた。

【委員】「豊岡市の温度は全国より2度高い」と記載があるが、但馬全体の温度を算出して経過を見るのはどうか。楽しく脱炭素化に向かえば良いと思う。

【会長】まずは大きな方針の部分を考えていただきたい。環境審議会ではエネルギーの問題だけでなく、豊岡の広い意味での環境（例えば、自然特性や限界集落等の地域課題）について考え、意見を述べるべきだと思う。再生可能エネルギー導入戦略についても、エネルギーだけの観点だけでなく、再生可能エネルギーを導入することで地域課題を解決する等、もっと豊岡の特性を入れた方針にしたほうが良い。この内容だと豊岡の課題とうまくリンクしていない。せっかく、自然の問題と地域の問題をうまくリンクさせながら考えている市なのに、戦略案ではそれが見えない。

【委員】小さな耕作放棄地を利用するというのが現実的ではないか。

【委員】人口統計を見ると2050年には市の人口が2万人減るとされている。なかなか現実的ではない。公共施設を減らしていこうという動きの中で、整合性がまったく見えない。

【委員】豊岡市の強みや弱みをもう少しはっきりさせた方が良いのでは。

【委員】再生可能エネルギー導入と脱炭素の関係がわからない。また、建築物の木造木質化の観点はないのか。木造の断熱効果はアルミサッシの2600倍とされている。エネルギーを減らせるところにつながるのではないかと思う。

【事務局】今回、策定している導入戦略は今後も順応的に修正できる。また、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を2年後に改定する。新たに改定する区域施

策編には、再生可能エネルギー導入戦略の内容も盛り込む上に、今回の審議の中で出た意見も入れられる。今後、委員のみなさまからの意見を盛り込んで戦略の内容をブラッシュアップしたいと思う。

#### 4. その他

- ・ 第4回環境審議会について  
(再生可能エネルギー導入戦略・プラスチックごみ削減対策実行計画報告)
- ・ 環境審議会委員の任期・委員選考について

#### 5. 閉会

- ・ 雀部副会長あいさつ